

学会だより

常任幹事会記録

日時：平成11年12月11日

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長平井篤志，副会長武田和義・常任幹事；二宮正士，野村和成，堤伸浩，平野博之，大澤良，大川安信，西尾剛，高野哲夫，辻本壽。

各常任幹事担当分の経過報告を行った。また，学会賞，学術会議会員選挙の推薦人，会計年度の変更，次期の常任幹事人事，などについての討議を行った。

次期会長・副会長

昨秋行われた現および次期幹事による選挙の結果，平成12、13年度の会長には武田和義氏(岡山大学)，副会長には足立泰二氏(大阪府立大学)が選出された。

学際シンポジウム「遺伝子組換え作物をめぐる諸問題と社会・政治・経済」

開催日時：3月27日(月)16:00-20:00

場所：名古屋市 愛知厚生年金会館(地下鉄池下駅下車) 植物生理若手の会，育種若手の会，(財)未来工学研究所/CSC，(有)DGC総研共催

演者およびパネリスト(演題未定)：宮田瀧(日経バイオテック)，蔦谷栄一(農林中金総合研究所)，白幡洋三郎(国際日本文化研究センター)，中澤港(東大大学院医学系研究科)

参加御希望の方は，はがき，FAXまたはホームページを通じて3月10日(金)までに登録を行って下さい。問い合わせ，参加申込先：玉置雅紀，国立環境研究所地域環境研究グループ(〒305-0053 茨城県つくば市小野川16-2)。TEL: 0298-50-2466, FAX: 0298-50-2490, E-mail: mtamaoki@nies.go.jp. ホームページ：http://mayumi.narc.affrc.go.jp/ikuwaka/gmsympo

植物科学基金助成事業のご案内

本基金は，1993年に開催された国際植物科学会議に際しての一般抛金の剰余金をもとに，日本の植物科学の振興に寄与することを目的とし，平成9年に設立された。

国際学会開催援助(平成12年度募集分)

(1)申請有資格者：植物科学に関する国際学会・国際シンポジウムを主催する組織の代表者(組織委員長など)であって，植物科学基金指定の推薦団体から推薦をうけた者。(2)援助の種類および金額：平成12年7月1日から平成13年6月30日までに日本国内で行われる国際学会，国際シンポジウムを開催するために必要な費用の一部を援助する。助成には次の2種類があり，重複して申請す

ることはできない。[1]助成：1件あたり30万円以下を給付し，返還の必要はない。[2]貸与：1件あたり300万円を上限として無利子で貸し付ける。学会等が終了次第すみやかに返却するものとする。(3)申し込み手続き：所定用紙を下記事務局に請求し，必要事項を記入して送付して下さい。(4)申込期限：平成12年4月30日。

若手研究者海外学会出席助成(平成12年度第1期募集分)

(1)有資格者：大学院生，研究生，ポスドクなど常勤の職に就いていない若手研究者(2)援助対象および金額：平成12年7月1日から平成12年12月31日までに国外で開催される学会，国際学会，国際シンポジウムで発表を行うために必要な費用のうち，渡航に関する費用の一部を補助。1件あたり10万円以下で，総額100万円以内の予定。(3)申し込み手続き：所定用紙を下記事務局に請求し，必要事項を記入して送付して下さい。(4)申込期限：平成12年4月30日。

以上，2件の助成に関する問い合わせ，書類の請求・送付先は次のとおりです。〒113-0033 文京区本郷2-27-2 東真ビル(社)日本植物学会内 植物科学基金事務局 TEL: 03-3814-5675, FAX: 03-3814-5352.

ミレニアム・プロジェクト「提案公募による革新的な技術開発プロジェクト」募集

・提案者の資格：研究技術開発に携わる個人・グループまたは民間企業。

・公募するプロジェクトの要件：(1)平成12年度から3年間以内。1件あたり年間1千万円から5千万円程度。(2)意義：技術的に達成される可能性が高く，実用的な意義が大きく，国民生活や産業への波及効果が具体的に想定されるもの。

・応募期間は2000年3月31日(金)。

・問い合わせおよび書式請求先：〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎5階科学技術庁「革新的な技術開発」提案公募係。TEL: 03-3581-3444, FAX: 03-3581-4422. <http://www.sta.go.jp/millennium>

3rd International Crop Science Congress (ICSC)

“ Meeting Future Human Needs ”, August 17-22, 2000, Hamburg, Germany.

<http://www.cch.de/CROPSCIENCE/> を参照して下さい。

談話会だより

札幌農林学会平成11年度大会農学部会(育種・作物)談話会

平成11年12月4日(土)、於北海道大学農学部

日本育種学会北海道談話会・日本作物学会北海道支部共催

講演要旨についての連絡先: 佐藤裕(北海道農業試験場, yutaka@cryo.affrc.go.jp)

ピルビン酸脱水素酵素複合体(PDH)E1 α サブユニット遺伝子アンチセンス阻害植物の表現型調査(由井里香, 池谷聡, 久保友彦, 三上哲夫)/ダイズにおけるリン酸トランスポーターのcDNAクローニング(船附秀行, 邑上豊隆, 松葉修一, 佐藤裕)/イネ1,3- β -グルカナゼ遺伝子とその乾燥ストレスによる発現(秋山高, 今井亮三, 渋谷直人)/コムギおよびイネにおけるAFR(anti-freeze-protein)様遺伝子の解析(松葉修一, 邑上豊隆, 船附秀行, 佐藤裕)/イネの低温シグナル伝達に関するMAPキナーゼ経路(今井亮三, Jiagqi Wen)/イネ属種間におけるepsps-rps40スペース領域の構造比較(小林聡, 佐藤天造, 長野宏則, 貴島祐治, 佐野芳雄)/イネの開花スケジュールに関する10準同質遺伝子系統における発育空間の構築(伊藤勇樹, 佐藤茂俊, 佐野芳雄)/野生イネ第6染色体短腕の遺伝解析(岡澤健, 鈴木良平, Khin-Thidar, 佐野芳雄)/野生イネが保持する強感光性遺伝子に関する遺伝学的研究(田中祐一, 松原一樹, 長野宏則, 佐野芳雄)/未同定野生イネの遺伝構造(田中太郎, 島本義也)/ブータンにおけるイネ遺伝資源収集(木内均)/耐冷性育種母本北海PL5の穂孕期耐冷性遺伝子座の精密マッピング(小松利光, 佐野芳雄, 加藤明)/水稻耐冷性中間母本農林11号の穂孕期耐冷性遺伝子座と連鎖したRFLPマーカーの同定(小松利光, 斎藤浩二, 佐野芳雄, 加藤明)/水稻品種「はやまさり」と「Italica Livorno」から由来するBC₁F₅系統群を用いたRFLP連鎖地図の作成とその充実化(佐藤毅, 藤野賢治, 木内均, 菊池治己, 野々上慈徳, 竹内善信, 林少揚, 矢野昌裕)/水稻品種「はやまさり」と「Italica Livorno」から由来するBC₁F₅系統群を用いた農業形質に関するQTL解析(藤野賢治, 佐藤毅, 木内均, 菊池治己, 野々上慈徳, 竹内善信, 林少揚, 矢野昌裕)/新旧北海道水稻品種の開花期耐冷性について(木下雅文, 丹野久, 木内均, 平山裕治, 菊池治己)/未熟時のイネ種子の発芽能力におよぼす温度の影響(上埜喜八)/1999年異常高温年における北海道水稻品種の食味特性について(田中一生, 前川利彦, 菊池治己)/冷水処理が水稻の窒素の吸収および体内分配に及ぼす影響(下野裕之, 長谷川利拓, 浅石裕輝, 伊藤昭, 櫻内千容, 藤村恵人, 岩間和人)/栄養生長期の冷水処理が水稻の生育・収量に及ぼす影響の品種間比較(藤村恵人, 長谷川利拓, 山川昌則, 下野裕之, 岩間和人)/根部冷却処理が水稻の生育と水分状態

に及ぼす影響(長谷川利拓, 下野裕之, 藤村恵人, 岩間和人)/イネ葯の浮遊培養-葯密度およびパラフィルム使用の有無によるカルス形成率の差異(岡本吉弘, 木下厚, 石村櫻, 佐竹徹夫)/ビーズガラス化法により超低温保存した植物の生育について(平井泰, 酒井昭)/パレイシヨのマイクロチューバーを利用した圃場栽培における生育の品種間差異(カワカミジャクソン, 渡辺丈洋, 長谷川利拓, 岩間和人)/マイクロチューバーと通常塊茎の種いもの大きさが圃場栽培したパレイシヨの生育・収量に及ぼす影響(渡辺丈洋, カワカミジャクソン, 長谷川利拓, 岩間和人)/マイクロチューバを種いもととするパレイシヨの生育経過(津田昌吾, 小林晃, 高田明子, 森元幸)/キャノピーアナライザーを用いたパレイシヨ群落構造の非破壊的計測(藤田昌子, 木村文彦, 長谷川利拓, 岩間和人)/フローサイトメーターによるばれいしよの倍数性解析(小林晃, 津田昌吾, 森元幸)/圃場条件下における畑作物の群落表面温度の生育に伴う推移(福岡峰彦, 長谷川利拓, 岩間和人)/秋播ライコムギの乾物生産性と群落構造との関係(コムギ・ライムギとの比較(義平大樹, 渡辺正彦, 石田春美, 三森絢介, 唐澤敏彦)/圃場接種試験における秋播コムギの黒色小粒菌核病抵抗性, 紅色雪腐病抵抗性の発現(入来規雄, 川上頭, 中島隆, 高田兼則, 桑原達雄)/春播小麦の赤かび病圃場検定と抵抗性母材(田引正, 中道浩司, 相馬潤, 坂智広, 柳沢朗, 天野洋一)/赤かび病菌*Fusarium graminearum*接種によるコムギの抵抗性検定(李俊明, 西尾善太, 入来規雄, 高田兼則, 桑原達雄)/コムギの低温馴化過程で誘導される遺伝子およびタンパク質の解析(米山昌, 増田ゆかり, 今井亮三, 島本義也)/東アジアに分布する*Astragalus*属植物の系統分類学的研究(土田勝一, 秋本正博, 喜多富美治, 本江昭夫)/スカシタゴボウの発芽への変温の影響(石川枝津子, 竹中重仁, 増田欣也, 豊田政一)/トウモロコシ自殖系統にみられた除草剤ニコスルフロン感受性とその遺伝解析(高宮泰宏, 佐藤尚, 三好智明, 千藤茂行)/寒地向きとうもろこし自殖系統間の近縁度評価のためのSSRsマーカーの利用(榎宏征, 佐藤尚, 濃沼圭一)/イネゲノムとのシンテニーを利用したコムギの種子休眠性遺伝子の検出(中村亘, 加藤清明, 田引正, 三浦秀穂, 沢田壮兵)/コムギ種子休眠における種皮と胚の遺伝支配(佐藤直美, 三浦秀穂, 沢田壮兵, 加藤清明)/春播きコムギにおける種子の大きさが生育量および収量におよぼす影響(藤田涼平, 上埜喜八, 山崎耕宇)/春播きコムギの小穂数に及ぼす播種日の影響(伊藤博武, 此嶋誠, 山崎耕宇, 小松輝行)/雪害・凍害シミュレーション装置による秋播小麦の耐冬性評価(桑原達雄, 入来規雄, 高田兼則)/小麦粉の色相・明度に関する研究5.小麦粉中の黄色色素の遺伝性について(柳沢朗, 谷藤健, 天野洋一)/小麦アミロ粘度の迅速評価法の比較検討(谷藤健)/パンコムギグルテン特性の環境変動(中道浩司, 田引正, 池口正二

郎, 柳沢朗, 天野洋一)/野生ダイズの特性に関する遺伝分析(坂本晋一, 阿部純, 金沢章, 島本義也)/SSRマーカーによって評価した日本・中国におけるダイズの遺伝変異(許東河, 金澤章, 阿部純, 島本義也)/核DNA多型に基づく中国及び日本のダイズ在来品種の遺伝的差異(鈴木祐一郎, 阿部純, 金沢章, 島本義也)/*Glycine*属植物における葉緑体DNAの塩基配列に基づいた系統関係(酒井美和, 金沢章, 阿部純, 島本義也)/「スズヒメ」のもつダイズシストセンチュウレース1抵抗性遺伝子のマッピング(木村光宏, 加藤清明, 鈴木(折原)千賀, 三浦秀穂, 沢田壮兵)/ダイズシストセンチュウ抵抗性遺伝子 *Rhg1* に関するDNAマーカー解析(紙谷元一, 木口忠彦, 折原千賀, 湯本節三, 萩原誠司, 白井和栄)/ダイズ茎疫病抵抗性遺伝子 (*Rps*) の本道における有効性(田澤暁子, 神野裕信, 手塚光明)/ダイズ低温貯蔵種子の発芽力検定(手塚光明)/東北地方のダイズ品種における耐倒伏性の評価(湯本節三, 高橋浩司, 高田吉丈, 中村茂樹)/1999年の道央管内における大豆裂皮多発状況とその要因について(鴻坂扶美子, 萩原誠司, 白井和栄, 高橋義雄)/異なる栽植密度および畦幅条件で栽培したダイズに対するウニコナゾール処理の増収効果(鈴木敦士, 森山里美, 長谷川利弘, 岩間和人)/アズキ品種の普及に関する研究 第1報 十勝における多収記録と新品種の普及(佐藤久泰, 村田吉平, 沢田壮兵)/アズキ種皮色に及ぼす登熟期の温度の影響 第2報 種皮色の地

帯間差異(長岡泰良, 沢田壮兵)/ミミズの導入が土壌の性質およびアズキの生育に及ぼす影響(伊藤歌奈子, 春木雅寛, 由田宏一, 中嶋博)/ダツタンソバの品種間差異(木村正義, 中司啓二)/有限伸育性ソバの生育特性におよぼす栽培条件の影響(船附稚子, 鈴木達郎, 我妻正迪, 後藤晴香, 三浦秀穂, 船附秀行)/ソバの播種時期が雑草生長におよぼす影響(山田靖子, 我妻尚広, 石村博之)/ソバ収量および雑草生長におよぼす土壌過湿の影響(石村博之, 我妻尚広, 山田靖子)/テンサイ低温発芽性の検定法と系統間差(蔵之内利和, 高橋宙之)/テンサイ根腐病抵抗性品種の育成 第2報 オオムギ培地粉末の地上部接種による根腐病抵抗性検定(大淵直樹, 田口和憲, 蔵之内利和, 高橋宙之, 田中征勝)/テンサイ育種試験に対する精密播種機の利用 第1報 真空精密播種機「HEGE95K」の機構(田口和憲, 大淵直樹, 高橋宙之, 田中征勝)/てんさい分析機「Venema Sugar Beetanalyzing System Hokunoushi」の機構及び諸性能(高橋宙之, 大淵直樹, 田口和憲, 蔵之内利和, 川勝正夫, 田中征勝)/以上68題.

日本育種学会会員異動

1月より事務取扱所が変更になったこととともない名簿の整備を進めています. 1999年11月から2000年2月までの会員の異動については, 次号にまとめて掲載いたします.